

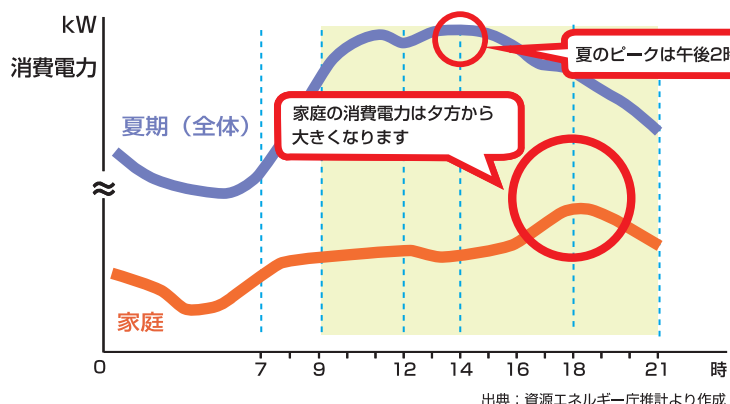
節電の基礎知識

1日の電気の使われ方は、季節や時間帯によって異なります。
電気が多く使われる時間帯は、節電を意識しましょう。

夏の電気の使われ方

夏の消費電力のピークは午後2時頃です。そのうち約半分がエアコンによる消費です。家の中での熱中症に注意して、無理のない範囲で節電をしましょう。

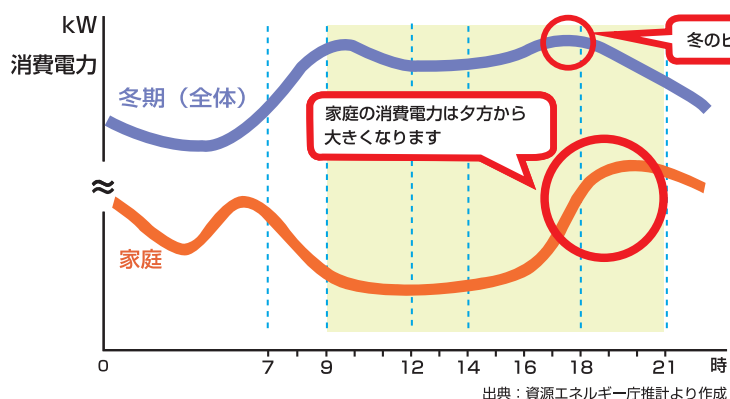
夏の1日の消費電力（イメージ）



冬の電気の使われ方

冬の消費電力のピークは午後5～6時頃です。家庭の消費電力も夕方から大きくなります。全体の消費電力と家庭の消費電力のピーク時間が重なります。

冬の1日の消費電力（イメージ）



ご家庭での節電のための3つの方法



減らす

消費電力を減らす

- ・家電製品の無駄な使用を抑える
- ・消費電力が小さくなるような使い方を



ずらす

電気使用が多い時間帯を避ける

消費電力の大きい家電製品の同時使用を避ける



切り替える

他の方法に切り替える

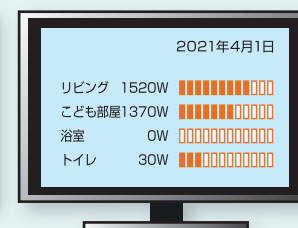
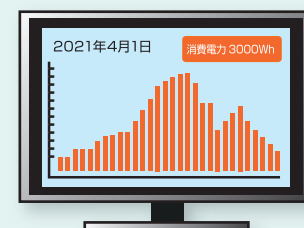
- ・省エネ型製品への買替え
- ・太陽光発電など自然エネルギーの利用

“見える化”のすすめ

“見える化機器”で

自分の家のエネルギー使用量を知ろう！

HEMSだと、リビングや子ども部屋ごとの使用電力量が見えるんだね！！



ヘムス

● HEMS (Home Energy Management System)

IT技術の活用により、家庭で使うエネルギーの量をリアルタイムで“見える化”し、家庭のエネルギー管理を支援するシステムです。住宅全体や部屋ごとなどで使っている電気の量や、太陽光発電の発電量・売電量などを数値やグラフで、モニターやパソコン画面などに示します。外出先からスマートフォンなどで機器のオンオフなどができる遠隔操作機能や、自動で機器を最適な状態に調整する機能がある製品もあります。

家電製品の電力使用量を調べてみよう！

● 小型電力量計 ※クール・ネット東京でも貸出しています

コンセントに差し込み、測りたい家電製品をつなぐと、電力使用量、電気料金、CO₂排出量がわかります。電気料金も表示されるので、省エネによる電気料金の節約効果もわかります。



最近話題の“スマート〇〇”とは・・・

● スマートメーター

電気の使用量が30分ごとに計測・記録でき、通信機能がついた新しい電力量計です。詳細な電力使用量が“見える化”され、多様な料金メニューの提供が可能となるとともに、HEMSとの連携で、効率的な家庭のエネルギー管理が可能となります。検針業務も自動化され、引越時などでの電力供給の一次停止や再開が遠隔操作でできるようになります。従来の電力量計からスマートメーターへの切替えが順次行われています。



● スマートハウス

HEMSを中核にIT技術を活用し、①太陽光発電や燃料電池などでエネルギーを「創る」、②蓄電池や電気自動車などでエネルギーを「蓄える」、③省エネ家電を使ってエネルギーを「かしこく使う」ことで、エネルギーの最適利用を図る住宅です。